



川崎国際環境技術展開催
委員長・川崎商工会議所会頭)が主催し、各大使館と宇宙航空研究開発機構、日本経済新聞社、テレビなどが後援する「川崎国際環境技術展」が、「川崎からはじまるグリーンイノベーション」歩先へ、もっと先へ」をコンセプトに、このほど2日間にわたり、川崎市中原区の「川崎アリーナ」で開催された。

JXTGエネ、日立AMSMが出演



環境への取り組みをアピール

この技術展は、国内の環境問題に即応する環境技術から地球環境問題を解決する環境技術展である。最前端の環境技術まで幅広く展示を行い、川崎の地から国内外へ発信し、出展企業・団体と共に企業等とのビジネスマッチングの場を提供するのが目的。会場には、「大気・土壤・環境ビジネス」「廃棄物・リサイクル」等のセミナーが開催され、日立オートモティブシステムズが「エネルギー関連で、立オートモティブシステムズ・エネルギー」が、「水素エネルギー関連で、日立オートモティブシステムズ・エネルギー」が、水素エネルギーを担う姿勢をアピールした。

JXTGエネルギーは、石油エネルギーなどにも取り組む総合エネルギー企業としての取り組みをアピール。また、日立オートモティブシステムズは、水素エネルギーの開拓をアピールした。

SS関連では、『省エネ・エネルギー』『エネルギー・エコシステム』関連で、立オートモティブシステムズは、水素エネルギーの開拓をアピールした。

三愛石油

「東京水素の日」で講演

タツノ
水素社会実現への活動紹介

タツノは水素エネルギーの推進セミナーで、自社の取り組みを紹介

水素エネルギーの普及に向けて官民一体にて開催した。同セミナーには「TOKYO-SI」の推進子チームは、自ら開いた同社の取り組みを紹介した。東京の未来を開拓するため、東京都が民間企業や都内自治体として計量機メーターなどを設置させた。大手のタツノが参加した「TOKYO-SI」は、水素社会実現への取り組みが「東京水素の日」として開催されたものだ。このセミナーは、水素エネルギーの普及啓発活動の一環として、都民など約400人が出席した。

同社は「タツノの水素社会実現への取り組み」と題した講演の中で、長年培ってきた技術と万全のメンテナンス体制を基に、水素社会の実現に貢献していくことを参加者にアピールした。

うえで「ネット通販は安いから多くの人に利用されている訳ではない。顧客は商品を「安く」ではなく「価値」で買っている。そして、価値の多様性を理解しているので、顧客のニーズは飽和している。新しいニーズに応えていかなければやがていけない」と述べた。

充填充填装置を使って水素の充填充填装置を購入する業者

■ミニストップと共同キャンペー開始

SS店舗でミニストップと共同キャンペー開始

SS店舗でミニストップと共同キャンペ